

2024年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年5月10日

上場会社名 株式会社リンクバル 上場取引所 東
コード番号 6046 URL https://linkbal.co.jp
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉弘 和正
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 財務経理部 部長 (氏名) 松岡 大輔 TEL 050(1741)2300
四半期報告書提出予定日 2024年5月10日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年9月期第2四半期の連結業績（2023年10月1日～2024年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期第2四半期	485	—	△81	—	△81	—	△83	—
2023年9月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2024年9月期第2四半期 △83百万円 (—%) 2023年9月期第2四半期 一百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年9月期第2四半期	△4.46	—
2023年9月期第2四半期	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年9月期第2四半期	1,462	1,047	71.6
2023年9月期	—	—	—

(参考) 自己資本 2024年9月期第2四半期 1,047百万円 2023年9月期 一百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年9月期	—	0.00	—	—	—
2024年9月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年9月期の連結業績予想（2023年10月1日～2024年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,243	—	6	—	6	—	4	—	0.26

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社 （社名）株式会社MiDATA

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年9月期2Q	19,500,000株	2023年9月期	19,500,000株
② 期末自己株式数	2024年9月期2Q	773,430株	2023年9月期	785,698株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年9月期2Q	18,716,112株	2023年9月期2Q	18,699,740株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(連結の範囲の重要な変更)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8
3. その他	8
継続企業の前提に関する重要事象等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、国内外における物価上昇や急激な円安、個人消費活動の変化、世界情勢の不安定化に起因した資源価格の高騰等により不確実性を増しており、依然として不透明な事業環境が続いております。

このような経営環境の下、当社は「machicon JAPAN」につきまして、出会いのニーズを広く捉えるべく掲載イベントの多様化を推し進めております。また、他業界の企業と協業し、潜在顧客層にリーチする新たな切り口でのイベントを企画・運営してまいりました。オンラインでの出会いを提供するマッチングアプリ「CoupLink」の運営については、引き続き、なりすまし業者をAI技術の活用によって徹底的に排除し、利用者に安心安全な利用環境を構築してまいりました。1対1の出会いを提供するカフェラウンジ「1on1 for Singles」においては、「machicon JAPAN」や「CoupLink」とは異なる層の利用者のニーズを捉えて、サービスの拡大を図っております。

この結果、当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高は485,444千円となりました。損益面では、売上原価、販売費及び一般管理費合計が566,647千円となりました。その結果、営業損失は81,202千円となりました。また、経常損失は81,321千円、親会社株主に帰属する四半期純損失は83,438千円となりました。

なお、当社はインターネットサイト運営事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はしていません。サービスごとの取組みは以下のとおりであります。

(イベントECサイト運営サービス)

2024年3月末でリンクバルID会員数は261万人を突破し、当第2四半期連結累計期間におけるイベントECサイト運営サービスの売上高は337,668千円となりました。

(WEBサイト運営サービス)

「CoupLink」および「KOIGAKU」につきましては、当第2四半期連結累計期間におけるWEBサイト運営サービスの売上高は147,776千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間における総資産は、1,462,291千円となりました。主な内訳は現金及び預金1,196,224千円、有形固定資産109,792千円、未収入金59,118千円であります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間における負債は、414,577千円となりました。主な内訳は長期借入金114,460千円、短期借入金100,000千円、未払金73,986千円であります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間における純資産は、1,047,714千円となりました。主な内訳は利益剰余金854,853千円、資本剰余金499,630千円、資本金50,000千円であります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、1,196,224千円となりました。各キャッシュ・フローの状況とその要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、営業活動により減少した資金は91,592千円となりました。これは主に、税引前四半期純損失が81,264千円、未払金の減少が30,275千円、未払消費税の増加が11,876千円、減価償却費が9,340千円となったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、投資活動により増加した資金は5,058千円となりました。これは、有形固定資産の取得による支出が1,256千円、関係会社貸付金の回収による収入が6,314千円となったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において、財務活動により増加した資金は98,338千円となりました。これは、短期借入れによる収入が100,000千円、長期借入金の返済による支出が1,662千円となったことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点の業績予想につきましては、2024年2月8日に公表した通期連結業績予想から変更はありません。

なお、上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第2四半期連結会計期間 (2024年3月31日)	
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	1,196,224
売掛金	40,524
未収入金	59,118
その他	17,057
貸倒引当金	△492
流動資産合計	1,312,432
固定資産	
有形固定資産	109,792
無形固定資産	0
投資その他の資産	
破産更生債権等	957
その他	41,251
貸倒引当金	△2,142
投資その他の資産	40,066
固定資産合計	149,859
資産合計	1,462,291
負債の部	
流動負債	
買掛金	4,408
短期借入金	100,000
1年内返済予定の長期借入金	3,601
未払金	73,986
未払法人税等	2,523
未払消費税等	11,876
前受金	18,298
預り金	15,420
賞与引当金	16,814
その他	16,864
流動負債合計	263,794
固定負債	
長期借入金	110,859
資産除去債務	18,889
繰延税金負債	5,534
長期預り保証金	15,500
固定負債合計	150,782
負債合計	414,577
純資産の部	
株主資本	
資本金	50,000
資本剰余金	499,630
利益剰余金	854,853
自己株式	△357,186
株主資本合計	1,047,297
新株予約権	417
純資産合計	1,047,714
負債純資産合計	1,462,291

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)
売上高	485,444
売上原価	99,505
売上総利益	385,938
販売費及び一般管理費	467,141
営業損失(△)	△81,202
営業外収益	
受取利息	53
その他	129
営業外収益合計	182
営業外費用	
支払利息	51
損害賠償金	250
営業外費用合計	301
経常損失(△)	△81,321
特別利益	
新株予約権戻入益	57
特別利益合計	57
税金等調整前四半期純損失(△)	△81,264
法人税、住民税及び事業税	2,524
法人税等調整額	△349
法人税等合計	2,174
四半期純損失(△)	△83,438
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△83,438

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)
四半期純損失(△)	△83,438
四半期包括利益	△83,438
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	△83,438

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失 (△)	△81,264
減価償却費	9,340
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1,082
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△111
受取利息及び受取配当金	△53
支払利息	51
新株予約権戻入益	△57
売上債権の増減額 (△は増加)	△4,706
未収入金の増減額 (△は増加)	3,793
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,268
未払金の増減額 (△は減少)	△30,275
未払消費税等の増減額 (△は減少)	11,876
前受金の増減額 (△は減少)	623
預り金の増減額 (△は減少)	△3,775
その他	240
小計	△90,966
利息及び配当金の受取額	53
利息の支払額	△51
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△627
営業活動によるキャッシュ・フロー	△91,592
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△1,256
関係会社貸付金の回収による収入	6,314
投資活動によるキャッシュ・フロー	5,058
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	100,000
長期借入金の返済による支出	△1,662
財務活動によるキャッシュ・フロー	98,338
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	11,803
現金及び現金同等物の期首残高	1,154,420
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	30,000
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,196,224

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲の重要な変更)

第1四半期連結会計期間より、非連結子会社であった株式会社MiDATAは重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染拡大に伴う会計上の見積りについて)

前事業年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した、新型コロナウイルス感染拡大の影響の収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社は、インターネットサイト運営事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

当社は、前事業年度まで、営業損失、経常損失、当期純損失を3期連続計上し、当第2四半期連結累計期間においても営業損失を計上していることから、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせる事象又は状況が存在しているものと認識しております。

このような事象又は状況を解消すべく、既存事業の変革および新規事業の強化を推し進め、売上高の伸長を図るとともに、業務運用の効率化に伴う間接業務の削減、要員の適正配置推進による人件費の効率的運用等に取り組み、強固な財政基盤の構築を実現し、損益状況のさらなる改善、黒字化を図ってまいります。

また、当第2四半期連結会計期間末において、1,196,224千円の現金及び預金を保有しており、当第2四半期連結会計期間末から翌12ヶ月間の資金繰りを考慮した結果、当面の事業資金を確保していることから当社の資金繰りに重要な懸念はありません。

以上により、当社においては、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないものと判断しております。